

2015年3月市議会一般質問（案）

2015年3月12日予定

21番 日本共産党 福間 健治

21番、日本共産党の福間健治です。通告に基づき、3項目9点について質問します。

1、地方創生について

いま地方は、住民のくらしの困難、福祉・医療の危機、地域経済の衰退など、深刻な問題に直面しています。地方の衰退は、長年の自民党政治が招いたものではないでしょうか。消費税増税と円安誘導による物価高が、くらしと地域経済を直撃しています。福祉・介護・医療への国庫負担の削減は、人手不足や「介護難民」、「医療崩壊」を深刻化させ、保険料などの重い負担を強いています。輸入自由化政策が地方の主要産業である農林水産業や地場産業に打撃を与えています。大規模小売店舗法（大店法）廃止が身近な商店街をつぶすなど、大企業優先の政治が地域経済を破壊してきました。「平成の大合併」の押しつけによって、自治体が住民から遠くなり、住民自治と自治体の機能を大きく後退させました。安倍政権は、これらの失政への反省もなく、「地方創生」「アベノミクスの地方への波及」などを旗印にしています。しかし、消費税増税、社会保障切り捨て、雇用破壊、TPP（環太平洋連携協定）推進の「アベノミクス」は、地方の衰退をさらに加速させるだけではないでしょうか。

そこで質問しますが、地方の衰退をもたらした背景と要因について、どのような認識をお持ちでしょうか。見解を求めます。

地方再生への提案

（1）自治体が、国の悪政から住民のくらし・福祉を守る「防波堤」の役割をはたすことです。

安倍政権は、社会保障予算の「自然増削減」路線を復活させ、あらゆる分野での制度改悪・削減に乗り出そうとしています。「医療改革」と称して、負担増と切り捨てを推進しています。国保の運営主体を市町村から都道府県に移行させる法案を国会で強行しようとしています。その狙いは、市町村が行っている国保への公費支援をやめさせようというもので、国保

料（税）のさらなる引き上げにつながります。後期高齢者保険料の大幅な引き上げ、病床削減・患者追い出しの強化も計画されています。介護報酬を過去最大規模で削減しようとしています。介護現場の低賃金と慢性的な人手不足を加速させ、3割が赤字経営になっている特養ホームで閉鎖や新增設の中止など、「介護難民」を激増させるものです。「要支援1、2」の介護給付の打ち切りなどの改悪も次々と強行されようとしています。生活保護の生活扶助・住宅扶助・冬季加算の削減なども強行されようとしています。「子育て支援」「女性の活躍」を言いながら、国・自治体の公的責任を後退させる「子ども・子育て支援新制度」の新年度実施を強行しました。保護者の願いに逆行する保育制度の改悪です。

くらしが大変になっているときだからこそ、自治体が、安倍政権の社会保障の大幅削減、住民に負担を強いるくらし圧迫に対し、住民を守る「防波堤」としての、本来の役割をはたすことが求められていると考えますが。見解を求めます。

（2）大企業「呼び込み」・大型開発依存の経済政策から、地域の力を活かす産業振興に転換を

外からの大企業「呼び込み」にたよる地域振興策は、全国各地で失敗を繰り返してきました。誘致した大企業が雇用にも地域経済にも責任をとらず撤退する事態も相次いでいます。最大の問題は、「呼び込み」のための大型開発・産業基盤（インフラ）整備や補助金の大盤振る舞いが地方財政を圧迫し、くらしや福祉、地域にある中小企業や産業のための施策が犠牲にされ、それが地域経済の疲弊に拍車をかけたことです。地域経済を支える住民の消費、地域の産業、企業の活動が、「呼び込み」のために犠牲にされるという本末転倒の事態です。安倍政権の大型開発推進は、自治体が必要な事業をすすめる際の入札不調や人手不足などの深刻な問題も招いています。地方に「特区」（規制緩和）を広げることを地域振興の柱にしようとしています。これも破たんずみの大企業「呼び込み」策です。「解雇特区」など働く人間の「使い捨て」を容易にすることで大企業を呼び込もうという規制緩和は、不安定雇用と低賃金を広げ、地域経済の地盤沈下を加速させます。こんなことが地域振興の名に値するものでないことは明瞭だと考えます。いまこそ大企業「呼び込み」・大型開発依存の経済

政策から、地域の力を活かす産業振興に転換をすべきと考えますが、見解を求めます。

(3) 住民の命と財産を守る災害対策の強化を

東日本大震災から4年、この間の教訓にてらしても、すべての被災者の生活と生業（なりわい）を再建するまで必要な公的支援を行うことを、復興の基本原則にすることが求められています。政府は東日本大震災の「集中復興期間」を2015年度までとしています。期限を切らず、必要な財源を確保して住宅再建や被災者支援に地方の判断で使えるようにすべきです。福島では、原発事故の甚大な被害が県民のいのちと健康、くらしを脅かし続けているにもかかわらず、安倍政権は原発再稼働に暴走する一方で、原発被害の損害賠償や除染を次々に打ち切ろうとしています。原発推進のために、福島原発事故を「終わった」ものとし、切り捨てる政治は許せません。「国土強靱（きょうじん）化」に名を借りた不要不急の大型公共事業でなく、大震災や、この間相次いだ豪雨・豪雪被害などからの復興事業を最優先とすべきです。また、全国で大地震や津波、噴火、異常気象にそなえる防災・減災対策を促進し、災害に強いまちづくりをすすめること、災害時に住民の命を守る地域の医療・福祉のネットワークを強化し、消防・自治体の人員確保を含め体制強化をはかることが急務だと考えますが見解を求めます。

(4) 住民自治と自治体機能の再生を

安倍政権は「地方創生」の名で、自治体再編をねらった地方切り捨ての「集約化」をすすめるようとしています。安倍政権が掲げる「集約化」は、公共施設や行政サービスを「拠点都市」に統廃合し、身近な住民サービスの低下と周辺部の切り捨てをすすめる、地方の衰退を加速させるものです。その先には、新たな自治体再編や道州制がねらわれています。いま求められているのは、「平成の大合併」で自治体が広大になりすぎ、住民自治の機能が大きく後退している状況を転換し、どこに住んでいても教育や医療をはじめ必要な行政サービスが受けられるよう、自治機能の再生をはかることだと考えますが、見解を求めます。

2、介護保険について

(1) 保険料について

第6期の介護保険料は、5期の基準額月額5,452円、年額65,410円から基準額月額5,994円 年額71,920円が提案されています。月額で543(9.9%)の引き上げ、年額では6,510円の値上げとなります。高齢者・家族にとっては大きな負担増となります。

これまでの私の質問には、「国庫負担の増額を国に要望していく」「介護保険料の高騰を抑えるために、介護準備金の活用を最大限おこなう」と答弁されてきました。介護保険料の高騰を抑えるためにどのような努力をされてきたのか。見解を求めます。

(2) 介護報酬について

2月6日、厚生労働省は、社会保障審議会介護給付費分科会で、介護保険サービスごとに事業者を支払われる介護報酬改定案として全体平均で2.27%の引き下げを決定しました。それによると特別養護老人ホームの基本報酬は約6%もの大幅引き下げです。特別養護老人ホームの約3割りが赤字経営で、入所待機者が全国52万人にもものぼるもとの切り下げです。すでに特別養護老人ホームでは事業者が撤退するなどの問題も発生しています。介護保険の土台を破壊させかねないきわめて異常な提案です。

制度発足以来、これほど引き下げたことはありません。かつて2%台の引き下げを繰り返して介護事業者や労働者が苦境に追い込まれ、「介護崩壊」という深刻な事態をうみだしました。取り返しのつかない被害を引き起こしかねない削減案はきっぱり撤回するよう要求すべきです。見解を求めます。

3、政治とカネ

(1) 政党助成金廃止を

政党助成金制度が1995年に創設されて以降、毎年320億円もの血税が日本共産党以外の政党に投入されてきました。2014年末までの総額はすでに6311億円にのぼります。そもそも政党助成金制度は、支持をしてもいない政党に事実上の「献金」を強要するものであり、「思想信条の自由」「政党支持の自由」に反する、憲法違反の制度です。くわえて、なんの苦労もなしに巨額の税金が転がり込む制度が、政党・政治家の金銭感覚を麻

痺させ、政治腐敗を加速させています。政党助成金ほしさに、政党が離合集散するなど、政党と政治を墮落させる元凶になっています。こうした趣旨から提出した政党助成金廃止法案について、どのような見解をお持ちでしょうか。答弁を求めます。

(2) 企業団体献金の全面禁止を

政党助成金制度は、もともと金権政治一掃をもとめる国民の声をうけ、「企業・団体献金を禁止するから」という口実で導入されました。しかし、実際には、政党本部・支部に対する企業・団体献金が温存され、政党助成金との“二重取り”が続けられ、カネの力で政治がゆがめられてきました。

国から補助金などをもらっている企業からの献金が、辞任した西川公也前農水相や望月義夫環境相、上川陽子法相などで明らかになったのに続き、安倍晋三首相らも国会で追及を受ける事態となっています。1994年に政治家個人に対する企業・団体献金は禁止されたものの、政党支部への献金と政治資金パーティーという“二つの抜け道”がつくられ、企業・団体献金が温存されてきました。「政党本部や支部への企業・団体献金を禁止し、政治資金パーティーの形で集めることも禁止する、文字通りの企業団体献金の全面禁止をすることが、政治への国民の信頼を回復するためにも必要と考えますが見解を求めます。